

けんちく茨城

ARCHITECTURE IBARAKI 2025.11 VOL.117



一般社団法人
茨城県建築士会
<https://i-shikai.com>



携帯サイト

けんちく茨城

2025.11.5 第117号

page	目次
01	「大納涼会」
04	建築作品紹介 つくば国際大学図書館棟
06	建築士会へようこそ!!
08	先輩会員を訪ねて
09	建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰・連合会会長表彰
	支部活動報告
10	県央支部 第116回建築セミナー報告 「“好奇心”が社会を動かすデザインの起点」
11	坂東支部 「坂東市子どもフェスティバルに出店しました」
12	筑波支部 コロナ禍で学んだ「食コミュ」活動
13	土浦支部 見学会『土浦聖バルナバ教会礼拝堂』 &企画発表会
14	石岡支部 「JAZZ音楽鑑賞会」
	委員会活動報告
15	総務・企画委員会 第67回建築士会全国大会「おおさか大会」を終えて
16	会員委員会 第33回建築士会チャリティーゴルフ大会
17	第15回ボウリング大会開催
18	情報・広報委員会 木造住宅耐震診断士養成講習会
19	青年委員会 「おうち模型を作ろう！ ～建築士と学ぶ間取りとデザイン～」
20	研修委員会 「改正 茨城県宅地開発関係資料集とその解説」および 「改正 都市計画法（盛土規制法など）について」講習会
21	女性委員会 わくわくセミナー 「隈研吾建築物を巡る旅 ～境町の事例について～」報告 「住宅の防犯&サイバーセキュリティ」 ラブアークセミナー 「宮大工のしごと」 『新2号建築物詳細説明』講習会
題字	大井川 和彦 茨城県知事
表紙	つくば国際大学図書館棟 設計・監理 株式会社増山設計
発行	令和7年11月5日
次回	令和8年3月5日予定
部数	1,850部
発行	一般社団法人 茨城県建築士会 会長 柴 和伸 〒310-0852 水戸市笠原町978-30 建築会館2F TEL.029-305-0329 FAX.029-305-0330 E-mail ibashikai0329@nifty.com (R7.7.1～)
編集	情報・広報委員会 相澤 晴夫 梅原 郁夫 児玉 欽司 成田 孝成 軽部 守彦 澤畑 一成 大山 早嗣 武居 公江 浅野祐一郎 石黒 幸喜 塙 万治 山田 一博 谷島 正憲 茂垣 直樹 株式会社 高野高速印刷



携帯サイト

デザイン・印刷



「大納涼会」

昨年に引き続き、建築士事務所協会との合同開催である大納涼会が開催された。本年は建築士事務所協会側が幹事を務め、参加者は来賓、正会員、賛助会員、建築士事務所協会を合わせ総勢194名となり、前回より微増の参加人数となった。

幹事会である河野建築士事務所協会会長の主催者挨拶で始まり、続いて来賓の田所嘉徳衆議院議員、高橋靖水戸市長、西野一県議会議長、海野透県議会議員、石井邦一県議会議員、木本信太郎県議会議員よりそれぞれ挨拶をいただいた。

また来賓には梶山弘志衆議院議員、秘書の宇留野洋治様、茨城県建築三課より建築指導課中島課長、営繕課小林課長、住宅課和田課長にご出席をいただき、早速、茨城県建築士会柴会長による乾杯の発声で納涼会の宴に入った。

例年同様、暑気払いという意味で御来賓も含め、各会員相互や賛助会との交流が活発に図られて大変有意義な催しとなった。

会は盛況のうちに進み、中締めは建築士事務所協会賛助会の代表幹事であ

<式次第>

開会
主催者挨拶
来賓挨拶
来賓紹介
祝電紹介
お祝いの贈呈
乾杯
中締め

る植田佳男様の手締めで、賑やかな雰囲気うちに終了しました。



田所 嘉徳氏 (士会顧問)
衆議院議員



高橋 靖氏 (士会顧問)
水戸市長



西野 一氏 (協会顧問)
茨城県議会議長



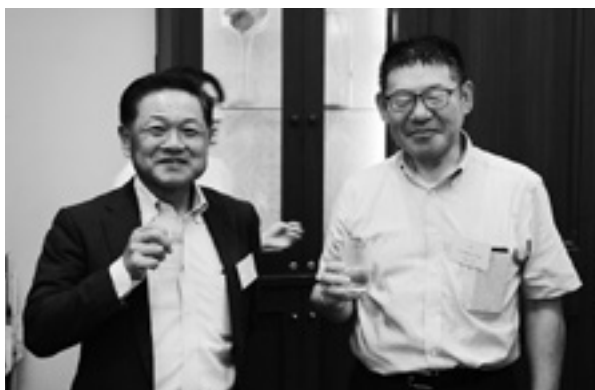
海野 透氏 (協会顧問)
茨城県議会議員



石井 邦一氏 (協会顧問)
茨城県議会議員



木本 信太郎氏 (協会顧問)
茨城県議会議員



河野 正博 会長
茨城県建築士事務所協会



賛助会 植田 佳男 代表幹事
茨城県建築士事務所協会



□建築設計・監理 宅地開発 建築物定期報告□



Aizawa Architectural Design Office

株式会社 相澤建築設計事務所

代表取締役 相澤 晴夫

〒300-1256 茨城県つくば市森の里1169-2

TEL.029-876-0617 FAX.029-876-0679

E-mail : info@aizawa-arc.co.jp

URL : <https://aizawa-arc.co.jp/>



(学) 霞ヶ浦学園 つくば国際大学 図書館棟

撮影：ワタナベスタジオ 渡辺重任

株式会社 増山設計

代表取締役会長 増山 栄
代表取締役社長 増山 保之

本社：〒305-0047

茨城県つくば市千現 1-12-2-305

TEL 029-869-6123

FAX 029-852-3810

土浦支店：〒300-0875

茨城県土浦市中荒川沖町 1-29

TEL 029-843-6011

FAX 029-843-3122

HP : www.masuyama-arc.com



つくば国際大学図書館棟

建築作品紹介

設計主旨

敷地条件と配置計画

教育現場において、主体的・対話的で「深い学び」の実現が求められています。つくば国際大学は、1994年に開学。現在は、医療保健学部を有し、深い学びの実現に向け、充実した教育環境の整備に注力しています。従来校舎の一角に設けられていた図書館も、医療機器操作実習室へと改修することとなり、新たに図書館棟を建設し移転することとなりました。移転先は、大学駐車場として利用されているキャンパスの隣接地で、南に向かって5 m程下がっています。駐車場を利用しているか、通学経路がそちらにない限り、学生からは馴染みの薄い敷地です。学生の通学方法は、徒歩・自転車・自動車と、様々で、

あらゆる方角から大学へやってきます。キャンパス側からだと、新たな図書館棟は距離があり、利用率が低下してしまうことが懸念されていました。その距離を感じるのは、5 m下がった駐車場のレベルまで、足を運ぶことが要因ではないかと考え、キャンパスレベルからも建物内へアクセスできる計画とし、心理的な距離を縮めることを試んでいます。結果として南下がりの傾斜地に、建物を埋め込む配置計画として、1、2階の両方にエントランスを設けました。工事の際は斜面を大きく切り盛りすることとなります。残土量を計算し、各フロアレベルを調整する埋戻し土や、建物周りの造成に利用して、土の搬出入のない計画としています。

(菅澤達行／株式会社増山設計)



美術品展示室

平面計画

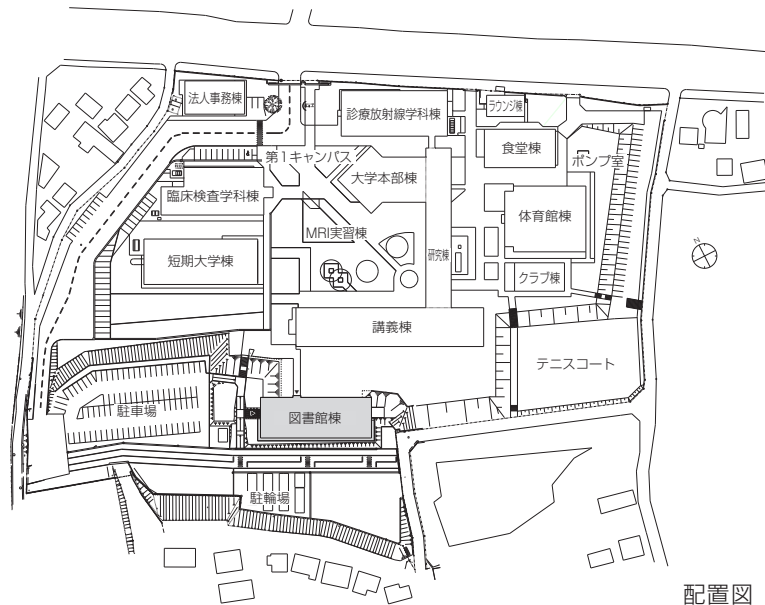
斜面に建物を埋めることで、1階の北側は地下室のような空間となります。そこに、閉架書庫や開架書庫を配置することで、外部環境の影響を受けにくく、保存条件に合わせて室内環境のコントロールがし易いようにしています。反対に、採光が得られる南側を閲覧スペースとしています。早朝や夕方の直射光に対しては、ブラインドで調整を行いますが、日中は外部ルーバーによって光を拡散し、快適な閲覧環境を提供しています。この大学図書館の特徴として、キャンパスレベルとなる2階に、美術品展示室と収蔵庫を設けています。大学関連施設の各



2階ホール



1階エレベーターホール



配置図

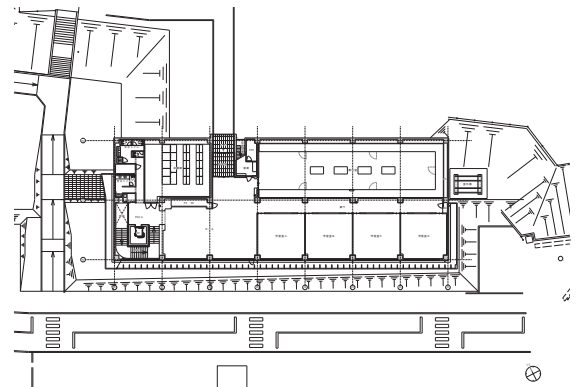
■建物概要／つくば国際大学図書館棟

- 所在地：茨城県土浦市真鍋6-20-1
- 主要用途：大学
- 建築主：学校法人霞ヶ浦学園
- 設計・監理：株式会社増山設計
- 施工
 - 建築：坪井工業株式会社
 - 電気設備：株式会社北嶋
 - 機械設備：三建設備工業株式会社
- 敷地面積：46,084.75㎡
- 建築面積：954.00㎡
- 延床面積：1,825.77㎡
- 階数：地上2階建て
- 最高高さ：9.84m
- 構造：鉄筋コンクリート造
- 竣工年月：2023年3月
- 設計期間：2021年7月～2022年5月
- 施工期間：2022年6月～2023年3月
- 写真：ワタナベスタジオ 渡辺重任

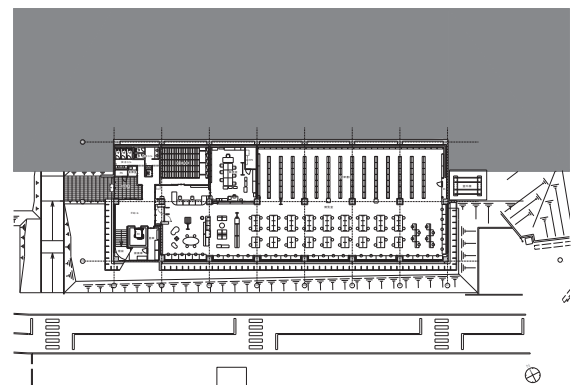
所（主にエントランスや廊下ホールなど）に点在している美術品や、これまで倉庫で眠っていた貴重なコレクションを、適した環境でまとめて管理し、展示室にて随時入れ替えながら公開をしています。学生が1, 2階を行き来する廊下やホールにも、美術品が展示できる設えとして、日常的に美術品を身近に感じられる環境としました。その他に、ゼミやグループ研究で利用できる学習室を設え、普段の講義以外の様々な活動がこの図書館棟で行われます。

外装計画

書架を思わせる外観を形成する大型ルーバーには、押出成形セメント板を素地仕上げとして採用しました。左官仕上げの毛羽立つような外壁と相まって、閑静で力強い印象を創り出しています。南側が全面ルーバーにより単調な外観とならないよう、開口を階段部分で2階から1階エントランスに向かって、斜めに切り取り、変化を与えています。大きく開口をとった南側に対して、北側の開口は、2階エントランスへの出入口のみとしています。キャンパス側からの、その入口は、知識と芸術の入口となり、学生たちの「深い学び」への入口となっていくことを期待するものです。



2階平面図



1階平面図

Welcome 建築士会へようこそ!!



四ツ倉 昌佳 45歳
支部名：県央支部

- ①四ツ倉 昌佳 45歳 県央支部
- ②鈴縫工業株式会社
- ③この度入会させて頂きました、四ツ倉です。建築士会の活動を通じて、協力関係を築き地域に貢献できればと思います。宜しくお願い致します。
- ④情報交換や建築の知識向上を目的に入会しました。
- ⑤講習会や現場見学会など
- ⑥設計と施工の双方における技術者育成に尽力したいと思います。

- ①竹田 陽市 51歳 筑波支部
- ②株式会社相澤建築設計事務所
- ③ハウスメーカーより建築設計事務所へ転職して4年目になります。

現在、BIMでの設計業務に取り組んでいます。

よろしくお願い致します。

- ④様々な情報や知識を習得する為・建築士会からメールがほぼ毎日届いて、たくさん情報があり、読み切れないです・・・。
- ⑤「建築GX・DX推進事業補助金交付申請」などの講習会
- ⑥建築士として元気で働きたいと思っています。



竹田 陽市 51歳
支部名：筑波支部



小田 邦江 54歳
支部名：石岡支部

- ①小田 邦江 54歳 石岡支部
- ②有限会社ナオエ総合設計
- ③座右の銘：おもしろがって生きる
- ④様々な活動を通じ多くの会員の方と交流させていただきたいです。
そして、建築に関する知識を深めていきたいです。
- ⑤講習会、見学会等
- ⑥地域の方々の役に立てるような建築士になりたいと思っています。

①氏名・支部

④入会の目的

②勤務先

⑤建築士会に期待する活動・参加したい活動

③自己紹介

⑥建築士として将来の目標



柳町 龍哉 29歳
支部名：竜ヶ崎支部

①柳町 龍哉 29歳 竜ヶ崎支部

②株式会社柳建設

③この度入会させていただきました、柳町と申します。現在、県南地域を中心に公共・民間工事に携わらせていただいております。会員の皆様と交流を築き、多くのことを学ばせていただければと思っております。よろしくお願いいたします。

④知識や情報の共有をさせていただき、自己の成長だけでなく、地域の発展に貢献したいと考えております。きたいと思います。

⑤現場見学会・講習会・有名建築や展示会などへの研修

⑥建築物の設計・監理を通じて地域の活性化に貢献していきたいと思っております。

< 防災・通信・電設・セキュリティー >



ミナト防災通信工業株式会社

～ MINATO BOUSAI CO.LTD SINCE 1974 ～

www.minatobousai.co.jp

Interview with seniors

先輩会員を訪ねて



技術の進歩とともに 歩んだ団塊の世代

鈴木 穰 氏（県央支部）

昭和22年生まれ／昭和50年入会／会員歴50年

戦後復興の始まる昭和22年農家の長男として生まれました。農家を継ぐ環境でしたが中学2年の時、将来の職業についての授業で、世の中生きていくのに、衣、食、住は生活の中での三要素と教えて頂いたのがきっかけで、住を選びその中から住まいの設計に進むことを決めました。

昭和、平成、令和と約60年間建築設計に携わってきました。思い起こすと学校卒業後、東京の設計事務所に入社し初めての図面を書いたのがT定規と三角定規、何年かして平行定規、そしてドラフターに変わり現在は、CADが主流、一方積算部門では基盤に始まり計算尺、ハンドルを回転させる計算機、電卓と目まぐるしい技術革新を全て体験してきた世代でした。

さて、今は令和の時代、これからはAIが設計業務に関わってくるでしょう。AIを使うことで人間の好奇心や能力を発揮できるかもしれません。特に若い方には創造力と想像力の大切さを心にとめ設計に取り組んで頂きたいと思います。

建築士会の活動

青年部の頃の記憶に残るワンシーン
ソフトボール大会、ピッチャーとして何度か優勝したことが思い出として残っています。
昭和50年代、常磐小学校での決勝の試合、2死満塁（水戸支部の守り）痛烈なショートゴロ、キャッチャーへの好返球、判定はセーフ、満塁なのでタッチは必要なしのリクエストによりアウトに覆り勝利、忘れられないシーンでした。（ちなみに当時のショートは柴会長、キャッチャーは吉原さんでした。）

趣味

毎月1回のゴルフ（ベストスコア 72 50歳の時）認知症予防をかねて毎朝の英会話



～新生活環境の未来建築へ 留まることない学び～

高橋 文男 氏（鹿島支部）

昭和24年生まれ／昭和62年入会／会員歴38年

岩手県花巻市出身、職業訓練所建築科修了後、昭和43年・茨城県鹿島（工業港）開発がきっかけで実兄の建築業に従事。

昭和45年、兄と建設会社設立し鹿島開発事業の移転等に係る家屋解体、基礎・木造建築のほか、昭和47年オイルショックの資材高騰、資材不足時代のほか、平成5年以降バブル崩壊等含め現在まで実務と技術資格習得しながら住宅建築、建築工事RC5階建ホテル、SRC9階建てマンション、鉄骨6階建ビル、RC3建寮、各種事務所、ショッピングセンター、各種店舗、病院、大型倉庫、工場、福祉施設、道路など官公庁などの土木建築工事管理に従事。

設計業務では昼夜を問わず企画、間取りエスキース・パースの苦戦作図等が廻ります。

海外（USA）短期間研修ではシアトル・サンフランシスコ・ロサンゼルス・メキシコ等で他国の風土、建築文化等を受講、現地視察等通し建築、資材に関し学ぶ機会となりました。

平成16年以降、国の住宅機構のまちづくり設計コンペ（鹿嶋市鹿島神宮門前町周辺のまちづくり設計）へ参加し発表また、鹿嶋市都市計画マスタープラン作成のワークショップに数回参加しました。

建築士会入会后、鹿島支部各事業に参加の他、本部事業ヘリマネ研修（1期生）と社寺等文化的重伝建等の調査知見報告のほか、まちづくり委員会活動など建築士会活動はどれも学びとなり多くの諸先生、先輩、青年女性部会、男女問わず若い方々に大変お世話になりました。

今年9月建築士会全国（大阪）大会と全国ヘリマネ総会、活動発表会及び、大阪万国博覧会に参加してきました、前回万博太陽の塔の時と併せ2度目、今回直に見た各パビリオン、木造リング等見学も今の世界観を体感、学ばせて頂きました。

現代社会において建設、設計分野でも、AIデジタル化、必要情報選択、生活環境変化、多発する災害、感染症の中、クリエイティブに健康で、仕事や暮らしを守る減災、防災など安全安心を基本に、今後とも会員皆さま方のご指導賜りますようお願い致します。

各表彰のご受賞誠にありがとうございました。

令和7年度
建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰
【住宅・建築事業関係】



益子 一彦 氏

(県央支部)
株式会社三上建築事務所

令和7年度 連合会会長表彰



梅原 郁夫 氏

(日立支部)
梅原材木店



中山 和朗 氏

(筑西支部)
株式会社中山工務店



小川 憲一 氏

(県央支部)
株式会社戸頃建築設計事務所



様々な業種から50名の参加者でほぼ満席

第116回建築セミナー報告 「“好奇心”が社会を動かすデザインの起点」

8月6日の建築セミナーでは、公共R不動産シニアマネージャーの梶田裕美子氏が登壇。「プロジェクトデザインとコーディネート-好奇心を社会に接続させる-」をテーマに、PM（プロジェクトマネージャー）としての豊富な実務経験をもとに、企画から調整、具現化までの具体的なプロセスが紹介された。

「PM」や「コンサル」は抽象的に捉えられがちだが、本講演では、現場で動き、交渉し、人を巻き込み、条例改定にまで踏み込む——そんな泥臭くもリアルな事例が報告された。5年越しで実現した

「ミチノサキ」、常総市複合施設での公民連携、藤沢市「少年の森」での条例改定など、「やってみたい」を「やれた！」に変えた取り組みは、業種を超えて多くの学びがあった。

「“あったらいいのに”が“無い”のは、“みんな”が思っていること」「まずはイラストや言葉にして共有する」という言葉に象徴されるように、『好奇心を起点に違和感を形にする力』は、AIにはない人間の本質的能力であり、これからの建築・デザインに欠かせない新たなプロフェッショナリズムだと感じさせられた。



水戸市出身の梶田さん

「坂東市子どもフェスティバルに 出店しました」

令和7年6月8日坂東市岩井公民館前の広場にて第31回坂東市子どもフェスティバルが開催されました。当日は曇天で、蒸し暑さの中、子ども育成会で市内の小学校13校、ライオンズクラブ、青年会議所、ボーイ・ガールスカウト、境警察、岩井消防署、自衛隊、建築士会等が参加しました。

今回、坂東市では、木工教室をメインに、本棚、椅子、ティッシュBOXのキットを用意して、参加者に金槌で組み立て作業をしてもらいました。日頃から子どもさん達も、金槌を持ったこともない作業を楽しんで組み立てていました。

その他に正方形の板に好きな絵を自由に描いて



もらい、電動糸鋸で切り抜き、壁掛け用に紐を取り付けて差し上げました。参加された方々にブルーベリーの苗木を配布しました。皆さん大変喜んでお帰りになりました。



有限会社 高槻建築設計事務所

代表取締役 高槻 一雄

〒310-0804 茨城県水戸市白梅2丁目9番20号
TEL 029-231-8461 FAX 029-231-8594
E-mail avd06303@nifty.com
URL <https://www.takatsuki-arc.com>

コロナ禍で学んだ「食コミュ」活動

2025年6月29日

今年も開催しました。

筑波支部には、「農」をテーマにした農芸委員会があります。

筑波支部通年イベントとして、会員でもある「株式会社中泉建設 六斗の郷」にて

第6回山桃「ヤマモモ」狩りを開催しました。

『山桃』ってみなさんスーパーなどで見たことがありますか？

なぜそんなことを聞くのか？

『木から摘み取ったら、すぐに食さないと腐ってしまう』からです。

ちなみに山桃は高知県では県花に、そして徳島県では県木にされています。

収穫期間がとても短く日持ちがしにくいため、「幻の果実」「高級果実」と言われています。

山桃は、収穫のタイミングがとてもむずかしい果実としても知られています。

抗酸化作用とタンパク質機能の調整作用から、高血圧、脳梗塞、心筋梗塞などの生活習慣病の予防に寄与する可能性があるといわれています。

山桃の果実は広く「目に良い」ということが言われていますが、山桃の血圧への効果に注目しています。

山桃の血圧降下作用については、あくまで予防段階での期待であり、科学的根拠が限定的とはいえ、実際に効果があったという体験談を聞いています。

採った山桃は、自宅でジャムや果樹酒などにして毎年楽しんでいるようです。



三上建築事務所

Kazuhiko Mashiko Architect & MIKAMI Architects

www.mikami.arc.co.jp

〔水戸オフィス〕 〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-4-36 大町ビル 2 階

TEL.029-224-0606 FAX.029-226-3778

〔東京オフィス〕 〒110-0015 東京都台東区東上野 1-1-1 O&K1.1.1ビル 4 階

TEL.03-5817-8184 FAX.03-5817-8194

〔九州オフィス〕 〒840-0801 佐賀県佐賀市駅前中央 3-14-31 サンフィールド佐賀 401 号

TEL.0952-37-7630 FAX.050-3730-7134



見学会『土浦聖バルナバ教会礼拝堂』 &企画発表会

昭和5年に建てられ、この度国の登録有形文化財に登録された「土浦聖バルナバ教会礼拝堂」を見学しました。土浦市で初の鉄筋コンクリート造と言えます。

教会執事の岸本氏そして当支部の登録に尽力された永井支部長とまちづくり委員会の久保田さんより説明をいただきました。

建物は、鉄筋コンクリート造、平屋建て、洋瓦葺き、切妻の大屋根のかかる主体部に2階建て銅板葺きの鐘楼（尖塔）が附属しています。礼拝堂・集会室には鉄筋コンクリート造の梁は無く、壁上部に直接木造の小屋組（洋小屋）が載っており、外壁の外側にバットレス（控え壁）が設けられています。礼

拝堂、集会室には天井が貼られていないため小屋組みが見え、外観からの想像より大きく豊かな印象の空間となっています。

岸本氏より、建設当初から使用されていた木製のオルガンの修復の話や、登録後に発見された建設計画時の図面の写しや積算書など貴重な資料も見せていただきながら、カトリック、プロテスタント、この教会の会派である英国国教会などの違いや、戦時中の教会がどのように扱われていたか、などたくさんの興味深い説明をしていただきました。

見学の後は、近くにありますが古民家の「城藤茶店」にてランチをしました。



「JAZZ音楽鑑賞会」

令和7年9月21日（日）小美玉市四季文化館みの〜れ風のホールにおいてJAZZ音楽鑑賞会を開催いたしました。石岡支部の会員とその家族や地域の方が音楽鑑賞を通して交流していただくことを目的として企画し、当日はお年寄りから若い方まで男女間

わずご参加いただき、演奏を通して会話を弾ませている様子があちこちで見られました。

演奏は、小美玉市を拠点に活動されているビックバンドで石岡支部所属の会員の方がいる「ジョリーフォレスト ジャズ オーケストラ」様にお願いを

して、ビックバンドならではの迫力ある演奏を披露いただきました。参加者からは、「久しぶりにビックバンドの演奏が聴けてうれしかったです」や「迫力あるコンサートでした。よかったです」との有難いお言葉をいただきました。

この度、開催にあたりご協力をいただいた関係者の皆様方に改めて感謝申し上げます。



OOMA 株式会社 大山都市建築設計

Oyama Office for Metropolitan Architecture

<https://ooma.co.jp>

〒309-1106 茨城県筑西市新治1996-56

TEL. 0296-21-7005 FAX. 0296-21-7006

E-mail: info@ooma.co.jp

OOMA-MITO 水戸設計室

〒310-0041 茨城県水戸市上水戸3-5-15-102

TEL. 029-291-6340 FAX. 029-291-6341

第67回建築士会全国大会 「おおさか大会」を終えて



令和7年9月19日（金）に大阪府大阪市のグラン
キューブ大阪において、全国大会が開催されました。
全国から約3,000人が参加し、茨城からは80名参加
し、3名の会員が表彰されました。

受賞された会員の皆様は次の通りです。
3名の皆様、誠におめでとうございます。

令和7年度 連合会会長表彰者

梅原 郁夫（日立支部）
中山 和朗（筑西支部）
小川 憲一（県央支部）

働き方変革、
学び方変革の実現に向けて…
『場』づくりを応援します

株式会社 新日東

〒311-0105 茨城県那珂市菅谷 3127
TEL:029-270-8551 FAX:029-270-8552
<http://www.shinnitto.co.jp/>

内装仕上工事業 茨城県知事許可（般-06）第25910号
高度管理医療機器等販売業（ひたちなか保健所長許可 ひ第221号）



（営業品目）

造作家具・学校施設家具備品・スチール家具・
福祉機器備品・特殊浴槽・PC・MFP・・・



第33回建築士会チャリティーゴルフ大会

第33回茨城県建築士会チャリティーゴルフコンペが、令和7年6月25日（水）に富士カントリー笠間ゴルフクラブにて開催されました。

前日までの台風接近予報から温帯低気圧に変わった当日は雨模様となり、蒸し暑くあいにくの天気となりましたが、多くの会員・賛助会員の方々にご参加頂き、熱戦が繰り広げられ大いに盛り上がりました。

大会ルールは新ベリア方式で行われ、

個人の部：優勝 小林 喜之氏（結城支部）

女性の部：優勝 長 智佳子氏（土浦支部）

また、今回より団体戦も新ベリア方式でのルールに変更になり、

団体の部：優勝 筑波支部（一色 信宏氏・長谷川 隆浩氏・青木 孝二氏・中山康弘氏）

そして、ベストグロス：青木 昌弘氏（県央支部）82という結果となりました。

競技終了後は親睦会及び表彰式が開催されました。

表彰式では、柴会長の挨拶後、筑波愛児園様へチャリティー金の贈呈、各賞の発表が行われ終始和やかなムードで無事終了となりました。

最後に賞品をご提供くださいました会員様、賛助会員様、ゴルフ場のスタッフの皆様には多大なるご支援を頂き厚く御礼申し上げます。

また来年も多くの皆様のご参加をお待ちしております。



安全、安心、快適を提供し
これからも社会に
貢献いたします。

三和シャッター工業株式会社

関東事業部 026-660-1152
茨城市場開発課 029-225-3687

第15回 ボウリング大会開催



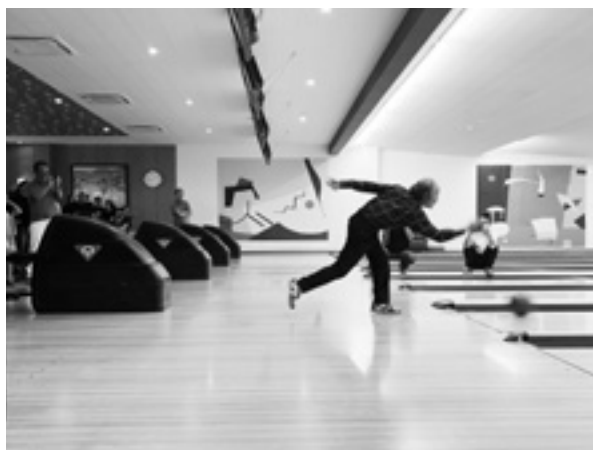
第15回ボウリング大会が、令和7年8月23日（土）に水戸市の大学ボウルにて、53名の参加者のもと盛大に開催されました。柴会長による始球式で大会がスタートし、多くの会員やご家族、子どもたちが参加しました。参加者はそれぞれのプレイにおいて、一投の行方に一喜一憂しながら全力を尽くし、ストライクやスペアが出るたびに歓声が上がり、参加者同士でハイタッチを交わす姿が印象的でした。

プレイ終了後には、全員の順位が発表され、拍手とともに表彰式が行われました。優勝者や団体優勝チーム、女子優勝者、子供優勝者には特別な商品が

贈られ、参加者全員にも順位に応じて賞が送られました。また、無料のドリンクバーが提供され、参加者はリラックスしながら大会を楽しむことができました。

ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。

優勝	島田 哲	スコア306（石岡支部）
準優勝	皆川 尚之	スコア295（桜川支部）
3位	鴨井 宏幸	スコア276（賛助会： YKKAP(株)）





木造住宅耐震診断士養成講習会

令和7年度茨城県木造住宅耐震診断士養成講習会が、8月1日（金）、開発公社ビル4階大会議室にて開催されました。

当日は、新規受講者31名、更新受講者40名、行政職員40名の合計111名が参加しました。開会にあたり、茨城県土木部都市局建築指導課の中島課長より主催者挨拶があり、続いて同課の石川技師より、診断士の養成状況等についての説明が行われました。

その後、土浦市都市政策部建築指導課の小沼主幹より、同市の耐震関連補助制度についての説明いただきました。

第1部「総論・一般診断法・被災度区分判定」では、茨城県建築士会県央支部木耐震リーダーであるNOVA建築設計室主宰岡山伸行先生よりご講義いただき、近年発生した日向灘や能登地方を震源とする地震に触れ、日本では南海トラフ地震などの大規模地震が今後いつ発生してもおかしくない状況であること、早めの対策の重要性についてお話しいた



きました。また、診断士として関連法令の改正や各自治体の助成制度を的確に把握し、住宅所有者に対して耐震診断や補強の必要性をわかりやすく伝えることの重要性についても説明がありました。

第2部「例題演習・精密診断・補強方法」では、茨城県建築士会理事・下妻支部長である軽部建設事務所主宰軽部守彦先生より、実際に行った耐震診断と補強の事例をもとにご講義いただきました。平面図を用いて、耐震上の弱点となる箇所や補強時の留意点、予算に応じた補強方法などについて具体的に解説されました。あわせて、能登半島地震の被災状況について、現地視察時の写真を交えた紹介もあり、耐震対策の重要性を改めて実感する内容となりました。

木造住宅耐震診断士の資格をお持ちでない方や、資格の更新がまだの方は、テキストも随時更新されていますので、ぜひ本講習会の受講をご検討ください。来年度も同時期に開催を予定しております。



「おうち模型を作ろう！ ～建築士と学ぶ間取りとデザイン～」

令和7年度も青年委員会は、引き続き東海村子どもキャンパス事業、牛久市でのワークショップ事業を行っています。今年で4年目、3年目となり、毎年内容を変えていく実験的な東海村事業と、継続しながら市内の小学校を周る街づくり事業の牛久市です。

今年度より運営としての立ち位置の見直しを行い、これまでの目標である参加してみたいと思える事業作りに、一緒に参加し、共に運営を行う協働の取り組みを追加しました。今回の事業では、設計事務所に勤務する、20代の非会員の男女の参加があり、建築士会の活動接する機会を作り出しました。この取

り組みは、今後も継続し、一緒に参加したいと感じる取り組みを企画し、より多くの建築士の仲間が増えることを目指しています。

さて、今年の東海こどもキャンパス事業は、茨城県建築士会オリジナルのおうち模型を用いた間取りやデザインを身近に感じてもらうワークショップとなります。東海村の小学生を対象に、東海村歴史と未来の交流館において、開催され25名の参加をいただきました。この事業は次回1月にも開催予定となり、第1回目の内容を飛躍させたテーマを考えています。今後が楽しみです。





「改正 茨城県宅地開発関係資料集とその解説」および 「改正 都市計画法(盛土規制法など)について」講習会

8月28日(木)茨城県開発公社ビル4階の会議室において、「改正 茨城県宅地開発関係資料集とその解説」および「改正 都市計画法(盛土規制法など)について」講習会が開催され、27名参加しました。

講習会は、2025年7月中旬に発刊しました茨城県建築基準関係資料集の改定箇所や改定概要などを茨城県土木部都市局建築指導課宅地グループ岩瀬係長

よりご説明頂きました。

また、令和7年4月1日に改正されました都市計画法(盛土規制法等)の「みなし許可」等の概要について、茨城県土木部都市局建築指導課宅地グループ鈴木係長よりご説明いただきました。

講義の合間の休憩時や終了後に講師に質問するなど、熱心な受講生の姿が見られました。



「隈研吾建築物を巡る旅 ～境町の事例について～」報告

■土浦支部 平山 香菜子

茨城県内の境町に隈研吾氏設計の建物が多数あるということで、見学会を行いました。朝、「道の駅さかい」で集合し、さかいまちづくり公社の新井伴明氏のガイドのもと、「①さかいサンド（サンドイッチ屋）」及び「②茶蔵（カフェ）」を見学し、車で近くのスーパーまで移動しました。スーパーの駐車場からは、無人運転の電気バスへ乗り込み、ゆっくりと街並みを楽しみながら、「シティウェーブ境町（人工サーフィン施設）」「アロハグランピングリゾート」に立ち寄り、「③モンテネグロ会館（カフェ）」から、その後「④S-Lab 4th（うなぎ加工場）」と「S-Lab 3rd（干しいも工場）」へ。この2つの建物は、ふるさと納税の寄付金によって建てられ、地元の人へ雇用の機会を与えつつ、ふるさと納税の返礼品を加工するという、驚きのカラクリのお話をいただき、町長の手腕の凄さを実感しました。途中、インバウンド交流拠点施設の一部である「銀座おのでら（回転ずし屋）」を見学し（外観のみ）、茶蔵へ戻り、土日限定の豪華弁当「常陸和牛と梅山豚（メイシャントン）の網焼き重」と「さしま茶」をいただき、午後からは「⑤S-Gallery（ギャラリー）」「⑥S-Lab（境町地場産品研究開発施設）」「⑦HOSHIIMO 100 Café（カフェ）」を巡り、道の駅さかいに戻ってきました。途中途中で、全天候型のスケボーパークや子育て支援



隈研吾氏設計の茶蔵カフェと電気バス

センター、定住促進住宅「アイレットハウス」の案内もいただき、7つの隈研吾建築物に加え、境町を支える様々な施設が点在していることにとても魅力を感じました。また、まちづくりの成功例として学ぶことが多く、盛りだくさんの見学会でした。



隈研吾氏設計の干し芋カフェ



今回ガイドをしていただいた新井氏



現在はカフェの旧モンテネグロ会館

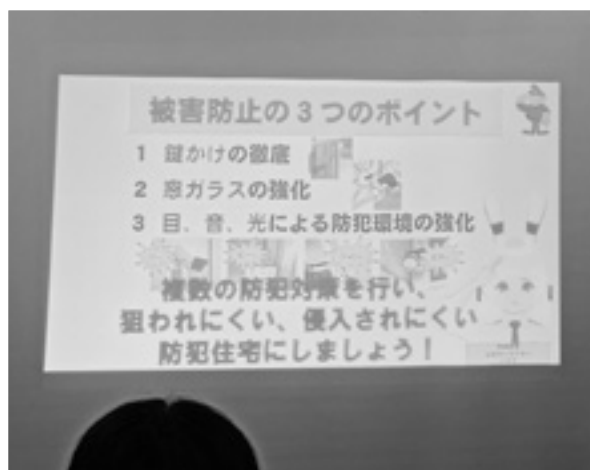
「住宅の防犯&サイバーセキュリティ」



■土浦支部 久保田 綾子

わくわくセミナー7月は、つくば警察署 生活安全課長 海老澤航氏に『住宅の防犯とサイバーセキュリティ』について講話いただきました。住宅の防犯対策は①鍵かけの徹底②窓ガラスの強化（CP部品）③目、音、光による防犯環境の強化が効果的であること。また、住まいへの侵入は在宅中も含めて無施錠部分からが多いのに対して、空き家への侵入は、窓ガラスを破るなど荒っぽくなり、年々増加

傾向にあること。そして、国際化しているサイバー犯罪、人の欲特に入りこむ投資詐欺や県内で多発している自動車・金属強盗についても今回個別に対処法を教えていただきました。常日頃から防犯意識を持つことと共に、ひとつの事案に対して二重三重の対策を講じることが大切なことがわかりました。今後に生かしていきたいと思いました。ありがとうございました。





「宮大工のしごと」

■ ひたちなか支部 浜中 本子

5月18日（日）に「宮大工のしごと」セミナーを開催しました。県央支部の轡田さんの提案により、一社）茨城県建築士会会員でもある宮大工の中島雅生氏を講師にお迎えし、宮大工のしごとに触れさせていただくこととなりました。

中島氏は茨城県で数寄屋造りなどを多数手掛けていた上に、より高度な技術を求めて京都の最高峰の工務店で学ばれたという高潔な方で仕事に対する姿勢も学ぶべきことがたくさんありました。このセミナーの講師をお引き受けいただいたのは、日本の木造建築を継承していくことの意義を強く感じられているからであるということで、ご多忙であり貴重なお時間をいただきました。今回の参加者は大工職人がたくさん集まりましたので、職人の道具や扱い方なども見せていただきました。工匠常陸の作業場には、色を揃え置かれた杉材、屋久杉、江戸時代生まれの山武杉、曝木、栗、御山杉、高野槇など他様々な木材があり、その一つ一つの特徴や使い方を丁寧に説明していただきました。見事な材料が厳かに並んで、不思議と次に生まれ変わるのを待っているような空間で、大事なことは、材料の探求と厳選であり、それこそがデザイン提案のヒントになるということ。それが新たな施主の目に留まるのであり、仕

事に繋がっていくという。色にもおも提案の一つということで、技術に裏付けされた知識が顧客獲得のポイントになることなど、大工職人のみならず設計者の立場からも大変有益なお話でした。もう一つ、京都修行時代の話から、職人が自分で銘木の端材で美しく細工を凝らした墨つぼを造って使っている、今もそうしておられることが驚きでした。作業場が明るく広々と片付いていて、道具が整然と並んでいる中で、今回25名の参加者を快く滞在させていただきました。改めて感謝申し上げます。





『新2号建築物詳細説明』講習会

■ 県央支部 篠根 玲子

本年4月1日以降に着工する建築物の建築基準法・省エネ法が大幅に見直されたことに伴い、2階建て木造住宅の設計・監理において、確認申請の添付図書や監理の内容が変わりました。

そこで令和7年7月5日（土）茨城県開発公社ビル4階会議室にて、安心確認検査機構 永堀克則先生を講師に迎え、図面・書類を作成する上でのポイントや監理・検査の内容などを学ぶ講習会を開催しました。

法改正の前にも何度か講習会がありましたが、今回は改正後数ヶ月が経ち実際に確認申請を提出する、これから監理が始まるというタイミングでの講習会でしたので、参加者にとっては基礎的なことを学ぶ

だけでなく今まさに悩んでいる不明な点の解決の場になったように思います。

また、会場の都合で参加人数に制限がありましたが、逆に少人数だったこともあり具体的な質問も多数あがり盛況な講習会となりました。



人とふれあう豊かな街づくり



DAIICHI
SEKKEI

株式
会社

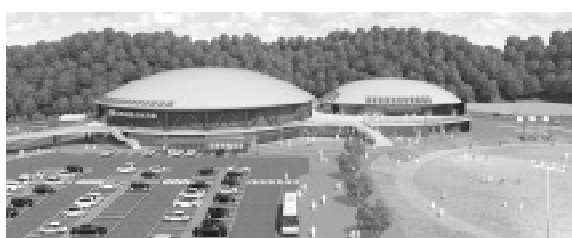
第一設計

代表取締役 山田 博則

写真：国営ひたち海浜公園

【本 社】〒312-0023 ひたちなか市大平 3-5-3
TEL：029-274-3056 FAX：029-274-4604 E-MAIL：daiichi@intio.or.jp
URL：http://www.daiichi-design.jp

2018~2025



SHIBA
ARCHITECT
OFFICE

since 1967

株式会社 柴建築設計事務所

水戸市泉町 3-1-28 第二中央ビル 7 階

TEL 029 (227) 0222

FAX 029 (231) 0960

<http://www.shiba-arc.co.jp/>



一般社団法人
茨城県建築士会
<https://i-shikai.com>



携帯サイト